

9月22日 「もっと森山を盛りあげ隊」が環境大賞を受賞

この度、森山に関する環境整備や精力的な情報発信のほか、月1回の登山行事などを行っている「もっと森山を盛りあげ隊」の皆さんが環境大賞（秋田県知事賞）を受賞されました。

県では平成10年より、環境保全に取り組む模範的な団体または個人を表彰するため「環境大賞（秋田県知事賞）」を創設し、これまでのべ123の個人・団体が受賞しています。



9月22日に来庁された「もっと森山を盛りあげ隊」の皆さん。左から、工藤兼雄美代表、荒川滋さん、北嶋一美さん、齊藤大蔵さん

10月17日 町老人クラブ連合会の皆さんが来庁

この度、県老人クラブ連合会主催の表彰授賞式が行われ、町内の1団体と3名が表彰されました。授賞された皆さんは以下のとおりです。

- 県知事表彰 優良老人クラブ 下山内老人クラブ
老人福祉功績者 金野 礪悦さん
- 県老人クラブ連合会会長表彰 近藤 強さん
小林 秋子さん



授賞されたのは下段左から、小林秋子さん、近藤強さん、金野礪悦さん、下山内老人クラブ(大石晴男会長)

10月22日 きのかまつりを開催

10月22日、秋の朝市「きのかまつり」を開催しました。朝市通りでは、なめこやしいたげなど旬のきのこが並んだほか、だまこ鍋やだまこそば、味噌たんぼなどが振舞われました。当日は、朝市plus+の開催とも重なり、会場は多くの出店者と来場者でにぎわいました。



朝市通りには、きのこや栗といった秋の味覚が並び、多くの方が来場しました。

がんばる人にまら

(敬称略)

MAESAWAサマーキャンプ2023(サッカー)

- ▶ 優勝 瀧上JFC
宮田 庄弥 (五城目小6年)
京野 柊正 (五城目小6年)
宮田ひまり (五城目小1年)
京野 正羽 (五城目小1年)

第14回ミズノカップ秋田県小学生女子ソフトボール大会

- ▶ 準優勝 八郎瀧SBC (ソフトボールクラブ)
小玉 優笑 (五城目小6年)
舘岡 萌花・中村 陽穂・小玉 優心
舘岡 愛梨・中嶋あおい (五城目小3年)

第76回東京選手権大会(ホープス・カブの部)

秋田県予選会(卓球)

- ◆ ホープス女子
▶ 準優勝 金澤こころ (五城目小6年)

第10回北秋田市縄文水泳競技大会

- ◆ 小学4年生女子 100m自由形
▶ 第1位 伊藤 潤喜 (五城目SS、五城目小学校4年)
- ◆ 小学3年生女子 100m自由形・50m背泳ぎ
▶ 第1位 筒井 怜 (五城目SS、五城目小学校3年)
- ◆ 小学2年生女子 50m自由形・25m背泳ぎ
▶ 第1位 石井みなみ (五城目SS、五城目小学校2年)

令和5年度秋田県小学生ソフトボール新人大会

- ▶ 優勝 八郎瀧SBC (ソフトボールクラブ)
舘岡 萌花・中村 陽穂・小玉 優心
舘岡 愛梨・中嶋あおい (五城目小3年)

男鹿瀧上南秋中学校秋季体育大会

- ◆ 女子バスケットボール ▶ 優勝
- ◆ 男子柔道・個人 ▶ 優勝 工藤 快斗 (五一中2年)
- ◆ 女子柔道・団体 ▶ 優勝
- ◆ 女子柔道・個人 ▶ 優勝 工藤 美桜 (五一中1年)



五城目小学校では、講習キットを用いて胸骨圧迫の仕方を学習



五城目第一中学校では、AEDの使い方を確認

9月8日に五城目小で、10月4日に五城目一中でそれぞれ応急手当講習を行いました。当日は町消防本部の職員が講師となり、目の前で救命措置が必要な人が現れた場合の、心肺蘇生のための胸骨圧迫の仕方やAED(自動体外式除細動器)※の使用方法を指導しました。

講習を受けた小学6年生の□□□□さんは、「講習を受けるのは今回で2回目だが、救急車が来るまで胸骨圧迫を続けるのはとても大変だと感じました。」

今日学んだことを生かしていきたいです」と話していました。

また、中学3年生の□□□□さんは「中学1年生からこの講習を受けてきましたが、今回の講習を通じて忘れていたところを再確認できました。実際の現場では、冷静に判断して一人でも多くの人を救いたいと思います」と話していました。

※機能を失った心臓に対して電気ショックを与える医療機器。

一人でも多くの人を救うために
命をつなぐ応急手当講習を実施



みんなで森山に植樹



五城目の郷土料理「だまこ鍋」に舌つつみ



キャベツ畑で草とり作業

10月7日から9日の3日間、千代田区と町の子どもたちに交流を深めてもらうことを目的とした「千代田区・五城目町児童双方向交流事業」を行いました。「コロナ禍の影響のため4年ぶりの開催となった本事業。当日は、千代田区・本町ともに10人の児童が参加し、農林業体験や、郷土料理である「だまこ鍋」づくり体験などを楽しみました。本事業は、来年の2月に千代田区を開催地として実施予定です。」

子どもたちが交流を深める
児童双方向交流事業



ブロッコリーの収穫体験